




大阪 市子 様の化学療法の内容

タキソール・カルボプラチン併用療法

◎化学療法スケジュール

3週間(21日間)を1コースとして繰り返します。




順番	お薬の名前	点滴の方法(点滴時間)	点滴の実施日			お薬の作用
			1	8	15	
①	ポラミン注 ガスター注 デキサー注 生理食塩液	 点滴(15分)	○	お休み	お休み	アレルギー・蕁麻疹の予防
②	カイトリル注 生理食塩液	 点滴(30分)	○			吐き気・嘔吐の予防
③	タキソール注 生理食塩液	 点滴(180分)	○			化学療法剤
④	カルボプラチン注 ブドウ糖液	 点滴(60分)	○			化学療法剤

(副作用の度合いにより、スケジュールの延期や治療内容に変更があります)

◎注意していただきたいこと

- ・点滴中はなるべく安静にお過ごしください。(トイレに行くことや食事等はかまいません)
- ・点滴中に、次のような事があればお知らせください。
 - 点滴のところが痛い
 - 針のところが腫れているような気がする
 - 吐き気
 - 気分が悪い、いつもと違う感じがする(息切れ・胸の痛み・息苦しさ・蕁麻疹・ほてり・動悸など)
- ・タキソールにはアルコールが入っていますので、ほてり感が出ることがあります。(車の運転は避けてください)

◎予想される副作用の症状と対策

副作用	副作用の症状 【出やすい時期】	副作用に対する対策		病院へ連絡
		家庭で	病院で	
アレルギー 蕁麻疹 	【当日～数日】 かゆみ・発疹 痛みや熱感 息苦しさ	かゆみや熱感がある時は、保冷剤等で冷やす 息苦しい時は、上体を起こす様な姿勢で過ごす	抗ヒスタミン剤 ステロイド剤	
血管炎 血管痛	【当日～数日】 血管にそった痛み・ 腫れ・発赤、発熱	患部を保冷剤等で冷やす	ステロイド剤	点滴部位が赤く腫れたり、痛みが強い時
吐き気 嘔吐 	【当日～数日】 吐き気・嘔吐 食欲不振	食べたい物や食べられるものを少しずつ食べる(水分はしっかりと摂る) においの強いものを近くに置かない 冷たくして食べると食べやすい	吐き気を和らげる薬	24時間嘔吐が続き、何にも口でできなかった場合
白血球減少 	【7～14日目頃】 発熱したり、感染し易くなります。	外出から戻った時や食事の前にはうがいや手洗いを行う 人ごみの多いところは出来るだけ避ける。 マスクをつける。生ものは控える。 お風呂に入り体を清潔にする。	白血球を増やす薬	38℃以上の熱 咳・悪寒・ 喉の痛み 腰や脇腹の痛み 排尿時の灼熱感